

花菖蒲が彩る、下町風情のまちをゆく。

堀切まちさんぽ

Katsushika Horikiri Guide Book



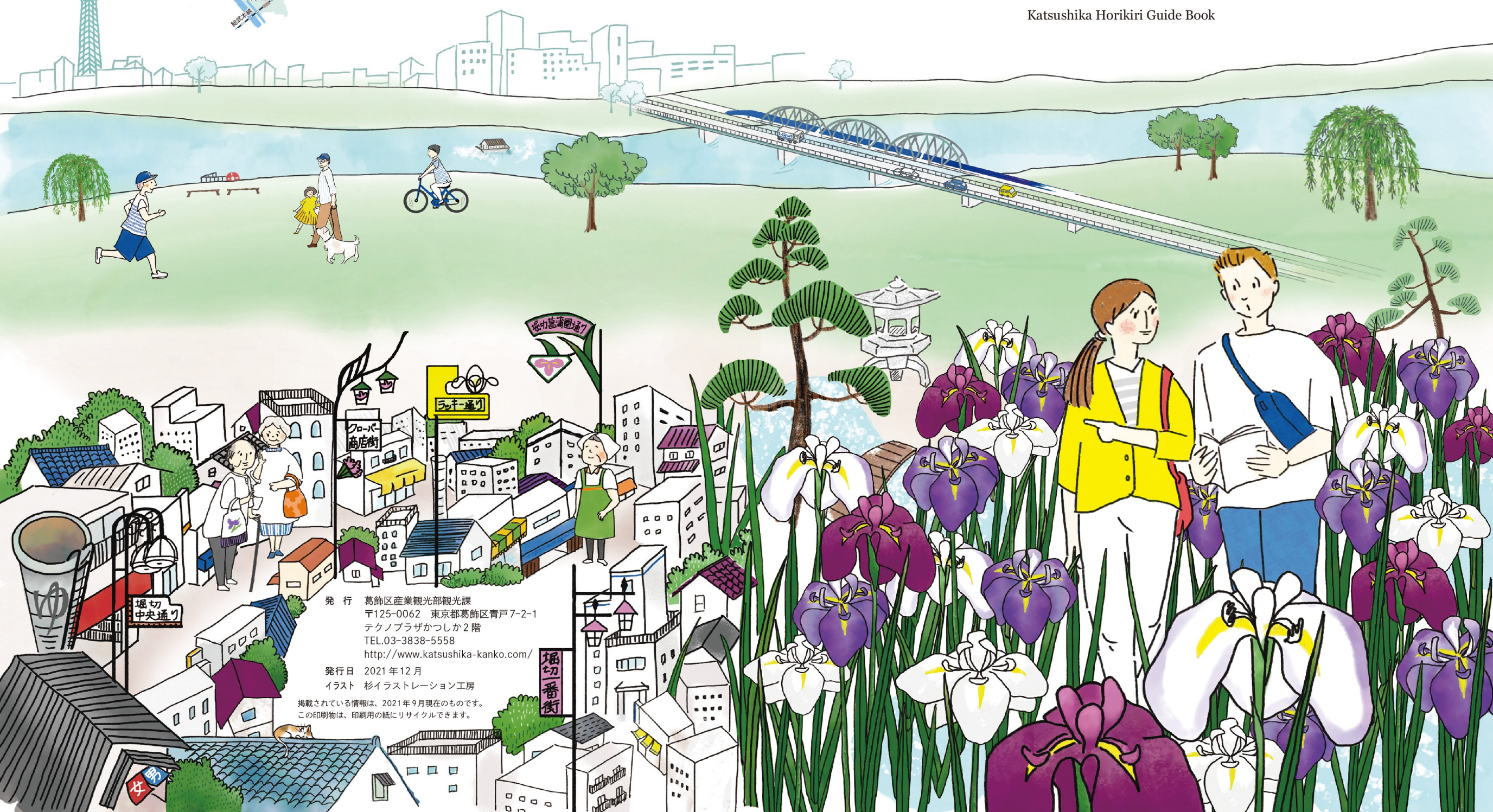
堀切菖蒲園への行き方

[上野・日暮里から]
京成上野駅から京成本線で堀切菖蒲園駅へ(約20分)
日暮里駅から京成本線で堀切菖蒲園駅へ(約15分)

堀切菖蒲園からの行き方

[柴又駅へ]
京成高砂駅で乗り換え、京成金町線で柴又駅へ(約20分)
[押上(スカイツリー前)駅へ]
青砥駅で乗り換え、京成押上線で押上(スカイツリー前)駅へ(約20分)

*所要時間はおよその目安です。曜日・時間等により異なります。



発行 葛飾区産業観光部観光課
〒125-0062 東京都葛飾区青戸7-2-1
テクノプラザかつしか2階
TEL.03-3838-5558
<http://www.katsushika-kanko.com/>

発行日 2021年12月
イラスト 杉イラストレーション工房

掲載されている情報は、2021年9月現在のものです。
この印刷物は、印刷用の紙にリサイクルできます。

堀切まちさんぽ

葛飾の西の玄関口
荒川沿いの花菖蒲のまちをゆく。



江戸から続く花菖蒲のまち、堀切へようこそ。

葛飾区堀切は、京成本線堀切菖蒲園駅を中心に、駅周辺には商店が立ち並び、その先には住宅や町工場が入り組む、どことも懐かしい雰囲気が残るまちです。江戸の頃から花菖蒲の名所として多くの人に知られ、「堀切菖蒲園」の花菖蒲が見頃を迎える5月下旬頃から6月中旬頃には、毎年多くの人々が観光に訪れます。

菖蒲園で花を愛でたり、商店街をぶらぶらしたり、銭湯や神社仏閣を巡ったり。この冊子には、堀切のまちを楽しむさまざまなヒントが詰まっています。あなただけの「堀切まちさんぽ」に出かけてみませんか。

気ままに菖蒲園へ
足をのばして
水辺空間・荒川へ

Have a nice day in HORIKIRI!



堀切のラッキースポット。菖蒲七福神が勢揃い



かつての水路に架かっていた橋の名残りが水の記憶を伝えてくれています



堀切菖蒲園

くねくねした道中も味わい。梅雨のときには、紫陽花を楽しみながら歩けます



まちさんぽのポイント

あそこにもここにも、花菖蒲！
足下のタイルから頭上の街路灯にまで。いくつ見つけられるでしょうか。



今日もスカイツリーが
きれいに見えるね！

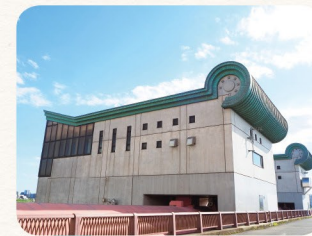


ゆっくり鑑賞 堀切菖蒲園

花菖蒲のほか、梅、藤、冬桜、牡丹など四季折々の花が見られる葛飾区指定名勝の区立公園。園内には句碑・歌碑などもあります。



野球場やサイクリングロード、芝生ゾーン等もある河川敷。四つ木方面には黄色いアーチの堀切避難橋が見えます



綾瀬川に架かるユニークな形の水門。ここまで来たらもうすぐ河川敷です



季節の花々と、東京スカイツリー®の眺めを花越しに見られるビューポイント

荒川方面へ行くには、横断歩道を渡り、階段をのぼります



徒歩 8分

堀切菖蒲水門

徒歩 4分

堀切水辺公園
荒川河川敷

帰りにどこか寄っていきいたいね



駅近くになにかあるかな

ちょっと寄り道 グルメ・買い物

京成本線堀切菖蒲園駅周辺には5つの商店街が集まります。堀切ならではのグルメやカフェ、お土産を求めて、気になるお店を気軽にのぞいてみてください。

ラーメン、町中華

下町ハイボール



ちょっと寄り道 路地裏

歩いていると気づくのは路地が多いこと。生活音に混じって町工場の音も聞こえてきます。何気ない路地に、昭和レトロ漂う風景が今も残っています。

思わぬところで猫との出会いもあるかも



広い空と風を感じる河川敷

日本初の観光 花菖蒲園誕生のまち

江戸時代にあった堀切村で、花農家を営んでいた小高伊左衛門が「小高園」を開いたことが花菖蒲園のはじまりです。その後も「武蔵園」のほか、明治・大正時代にかけて「吉野園」「堀切園」「観花園」「四ツ木園」などが開園。多くの人々が訪れる花名所になりました。

ところが、関東大震災や都市化による環境の変化、戦時下での食糧確保のために水田化が進み、規模が縮小。一時はすべての花菖蒲園が閉園を余儀なくされましたが、戦後、足立区に花菖蒲を疎開させていた「堀切園」が唯一の再興を果たしました。都立公園を経て、1975年に葛飾区が管轄する「堀切菖蒲園」となりました。江戸時代からの花菖蒲を見られる貴重な花菖蒲園として今に至ります。



彩色された絵葉書「小高園」(明治末期頃)
明治期になるとドイツやアメリカに花菖蒲が輸出され、国際的な品評会で金賞を獲得など高く評価されました



見て、聞いて、
もっと知りたい!

堀切の花菖蒲



歌川広重が描いた『名所江戸百景』
「堀切の花菖蒲」(安政4年/1857年)



江戸古花を含む江戸系を中心に、伊勢系や肥後系、長井古種など、約200種6000株の花菖蒲を一望できます。バリアフリーの園内は車椅子やベビーカーで訪れる方にも安心です



歳月が生み出す 壮観な庭園

それぞれの花の美しさはもちろん、調和のとれた景色も堀切菖蒲園の特徴です。園内のどの位置からでも見応えある姿になるよう、同じ品種が重ならないように植栽。花の色や形、高さ、さらには開花時期などもイメージしながら、訪れる人を楽しませる奥行きある庭園を作り出しています。



細やかな工夫や丹念な手入れによって咲く花は優美。それぞれの花のそばには品種名の立て札がかけられているので、気になる花菖蒲を見つけてみてはいかがでしょうか

貴重な品種が おでむかえ

見所の一つは、日本の花菖蒲の発展に貢献した江戸時代後期の旗本・松平左金吾定朝(菖翁)が作出した品種・菖翁花。堀切の「小高園」が譲り受け、堀切地域の花菖蒲園に広まり、現在も菖翁花の名を受け継ぐ花菖蒲が12種あります。また、戦前に江戸(東京・堀切)で作出された江戸古花も多く観られます。

江戸古花の一種
葵の上



菖翁が育んだ
宇宙



平成に生まれた品種
堀切の夢



今年も元気に育ってくれたなあ



堀切のマスコット
キャラクター「ほりきりん」



花菖蒲に関連した
まちの取り組み

葛飾菖蒲まつり

6月の開花期に合わせて、葛飾区の堀切と水元では「葛飾菖蒲まつり」を開催。堀切ではまちぐるみでの催しが盛りだくさん。オープニングイベントを皮切りにパレードやステージイベントのほか、堀切菖蒲園では夜にライトアップも。地元の小学生が取り組む写真コンクールなども行なわれます。

ほのかな色の
違いにも個性
があるわね



どの花も立派で
きれいな



駅前の路上では阿波踊りや民謡踊り、吹奏楽の演奏等のパレードで盛りあがります



ライトアップされた夜の堀切菖蒲園も幻想的!



わたしが描いた絵が飾られているよ

3 堀切菖蒲園
MAP

開園時間 9:00~17:00 (6月1~25日は8:00~18:00)
葛飾区堀切2-19-1/京成本線堀切菖蒲園駅より徒歩約10分/入園無料
*菖蒲まつり期間中、ボランティアによる観光ガイドが行なわれます

京成本線 堀切菖蒲園駅周辺
まちさんぽガイドマップ

HORIKIRI MAP

まちを歩くと気になるスポットがいっぱい!



- p2-3の道のり
- 寄り道&お散歩
- 旧菖蒲園エリア
- 公園
- バス停留所

たまには銭湯でリラックス

堀切には歴史や趣き溢れる4つの銭湯があります。銭湯までの道中、路地を一步入って探検気分で行くと、違った景色が見えてくるかもしれません。

➔葛飾区内の銭湯情報サイト「葛飾銭湯」
<https://katsushika1010.com>



町工場がそばにあるまち

駅から少し離れた住宅街のなかに、伝統工芸品から精密機械の部品まで、さまざまな製品を取り扱う工場があります。

- ➔「葛飾ブランド町工場物語」公式サイト
<https://katsushika-brand.jp/>
- ➔葛飾区伝統産業職人会公式サイト
<https://www.syokuninkai.com/>



旧小谷野村の鎮守。7月には「桃祭り」が行なわれ、かつては病気の流行や悪いことが起こらないことを願い、獅子頭を被って地域を練り歩いていた。
●小谷野神社



ラーメン屋や中華料理店が立ち並び

2021年に開業90年
京成本線堀切菖蒲園駅

商店街でお買い物

駅周辺には、「一番街商店会」「ラッキー通り商店街」「菖蒲園通り商和会」「クローバー商店会」「中央商店街振興組合」の5つの商店街があります。親しみやすい店主とのやりとりもホットするひとときです。

➔堀切の商店街を紹介するサイト
「堀切発見伝」<https://www.horikiri-s.com/>

天祖神社の末社。大正時代に埋め立てられた毛無池に祀られていた弁財天を中心として、近年七福神像が建立され、福をもたらす神様として親しまれている

かつての水路に架かっていた橋の名が記された石碑がある。堀切菖蒲園までの道中、いくつか見られる

紫陽花が植えられた遊歩道

ジグザグ・くねくね・曲がり角

昔は田んぼや畑が広がる地域であったこと、用水路が縦横に流れていたことが、現在のまちの地形を表しています。用水路は埋め立てられましたが、その名残りを示す橋の名前の石碑が通りに設置されています。生活と水路のかかわりが多かった時代を、道をたどりつつ体感してみませんか。

静観亭
堀切菖蒲園
園内には会食・飲食ができる静観亭(要予約)

入口のお地藏さまに奉納された塩をイボにすりこむとよく治ると伝えられている

堀切菖蒲水門
1997年に綾瀬川の氾濫を防ぐために設置された

かつての用水路の跡地。約1kmの桜の並木道

四つ木地区にも明治から昭和にかけて花菖蒲園が開園。旧吉野園の跡地にある四つ木中学校内には吉野園跡の石碑がある

荒川河川敷は憩いの場

ドラマや映画のロケ地にも使われている見晴らしのよい河川敷は、地元の人のジョギングや散歩、スポーツなどで使われています。「かつしかふれあいRUNフェスタ」や、大風揚げ大会なども開かれます。

荒川
1930年に水災から都市を守るために人工的に掘られた放水路

対岸には東京スカイツリー®が望める

